

“IP電話機”を交換します! ～「便利な生活」と「情報伝達機器の進歩」～

※端末画面の内容はイメージです。

最新機能を搭載

10月から交換が始まるIP電話機は、新しい機能の利点を生かした配信メニューの追加や、町民の皆さんのスマートフォン等での受信ができる情報受信手段の多重化と高度化が図られることが大きな特徴です。

防災・災害情報のみならず、平常時の各種生活情報を、これまで以上に迅速かつわかりやすく、簡便に提供することが可能となります。

IP電話機の新しい機能などについてご紹介します。



新しいIP電話番号は?

現在、44局、45局、46局などのNTTの一般加入電話と同じ市内局番で始まる番号をお使いの世帯等については、今までどおり変更がありません。

それ以外の番号を任意で設定されている場合は、「番号の変更の必要」がありますので、該当世帯等には、別途ご連絡・ご相談させていただきます。

各世帯等への交換作業は?

10月以降12月までの期間に、交換作業を行う事業者「株京セラ」(東京都)から皆様のご都合を確認のうえ訪問します。業は完了しますので、ご協力をお願いします。

なお、交換対象は、現在IP電話機が設置されており、本町の住民基本台帳に登録されている方が暮らす住宅や作業所及び公共施設です。

新IP電話機の機能

便利な機能が追加に!

- 「町のホームページ」が見られます。
- 「国道のライブカメラ映像や通行止めの情報」等が見られます。
- 町内各地区の「天気情報」が見られます。
- 町内各漁港に設置の「定点カメラ」の映像が見られます。
- 「専用アプリ」を使って、スマートフォンでも町からのお知らせが受信できます。

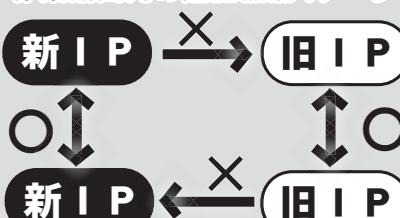
今までの機能はそのまま

- 町内テレビ電話が無料で利用可能
- 画像と音声によるお知らせ配信
- 利用料は今までどおり無料

10月から利用が可能に!

10月以降に順次各世帯のIP電話機の交換が行われ、完了と一緒に、新しいIP電話機の利用が可能となります。また、交換にあたって交換費用等の負担はありません。なお、全ての世帯の交換作業が完了するまで、通話に一部制限時間が発生しますが、できるだけその期間の短縮に努めます。完了した地区から随時IPで作業の進捗状況をお知らせしますので、ご理解とご協力ををお願いします。

作業期間内の通話機能イメージ



※町などからのお知らせは新・旧IPともに通常どおり配信されます。

TEL役場企画課
【問合せ先】
8月号町広報もご覧下さい。
44-2114

スキーサマーフェスティバル全国大会で躍動！

三上 琳加（りんか）
託摩（たくま）くん（美中1）姉弟

～目指せオリ・ピック姉弟メダリスト～

7月に、道内各地で催された5大会の総合成績を競う「2021.ジユニアサマージャンプ大会北海道シリーズ」に、三上 琳加さん（美中3）と託摩くん（美中1）姉弟が出場しました。

余市町などへ週6日練習に通っている2人は、全国から予選を勝ち抜いた選手たちが出席する中、琳加さんは4位入賞、託摩くんは見事総合優勝に輝きました。

琳加さんは、「今大会では、表彰台に上ることができませんでしたが、秋以降の大會では、必ず表彰台に上れるよう練習に励みます。」託摩くんは、「日々の努力で総合優勝できて嬉しかったです。もっと高い目標を目指して頑張ります！」と意気込みを語ってくれました。

2人の夢、目指せオリ・ピック姉弟メダリスト！



B&G 少年教室 「B&G日帰り野外体験プログラム」

集団生活や野外体験活動を通して、自然と人が共生する「環境」と、「安全」を学ぶ「野外体験プログラム」が開催されました。



ち葉の数を競い合うゲームや、コンクリートブロックを積み重ねて作ったかまどを積み重ねて作ったかまどで、昼食のホットドック作りを体験しました。

「パンがちょっと焦げちゃった」などと話しながらも、自分で作ったホットドックをみんなでおいしそうに頬張る子供たちの姿が印象的でした。

8月3日の海洋センター主催の『第2回少年教室「B&G日帰り野外体験プログラム』には、小学校児童23名が参加しました。



午後の部の、室内でのキャラクター製作では、それぞれが好きなキャラクターやイラストをモチーフに、真剣な表情で取り組んでいました。最後に1日間のプログラムから学んだ自然の大切さや班行動でのチームワークの大切さをみんなで確かめ合い解散しました。



明日起きるかもしれない 災害に備えて

9月1日は
「防災の日」

今年も全国各地で大規模な自然災害が発生しています。

災害はいつ起こるか分からないものです。災害への備えと、起きたときにどうすればよいか？慌てずに的確な行動が取れるか？町民の皆さんの日頃からの準備が何より大切です。

～激甚化する災害から地域を守る三本柱～ 「自助」・「共助」・「公助」

災害発生時には、行政による救助・救急活動にも限界があります。

自分で守る「自助」、みんなで守る「共助」、行政による「公助」が連携することで、被害を未然に防いだり、減災することができます。

自助
自分で守る

自分と家族の安全を守る

【主な取り組み】

- ・情報の収集
- ・非常食や防災グッズの準備
- ・避難場所・経路の確認
- ・連絡方法の確認など



共助
みんなで守る

隣近所や地域で助け合い

【主な取り組み】

- ・地域での救助活動
- ・避難所の運営協力
- ・日頃の地域防災活動
- ・危険箇所の把握など



公助
行政が守る

災害時の救援活動、減災のための支援

【主な取り組み】

- ・救助・救急活動
- ・情報発信・伝達
- ・耐震改修の促進
- ・「自助」・「共助」の啓発



共助の持つ大きな力

災害規模が大きくなるほど、町や消防、警察などの対応が遅れます。そんなときには、町内会などで組織される自主防災組織です。日頃から身近な人たちで助け合える体制を整えておきましょう。



美國町（寺町）



婦美町

※平成22年の大雨による町内の被災状況

ました。
大きな建物を使用した訓練

訓練では、警防計画という火災等の被害を最少限に留める想定で「警防訓練」を行いました。



(7月30日)

美國小で「警防訓練」

美国小学校で家庭科室から出火し、1名が逃げ遅れている想定で「警防訓練」を行いました。

は貴重で、火災発生時の即時対応体制を確認することができました。



(7月15日・16日)

ゆうるりで「救命講習」

特別養護老人ホームゆうるりで2日間の「救命講習」を行いました。

DVDで応急手当の基礎知識を学び、心肺蘇生法やAEDの取り扱いの実技を実践。

最後に筆記試験と実技試験も行われ、全員の合格者に修了証が交付されました。

また止血法、異物除去法、シヨツク、熱中症、搬送方法など幅広い講習に、参加した同施設職員からは「今回学んだことを今後の業務に生かしていきたい」と抱負が聞かれました。

支署ではいつもでも救命講習等を受け付けています。ご遠慮なくご相談ください。

ました。